

鋼鉄の心臓！ 保守整備に汗をかく機関部！



機器設置確認

最新の環境規制に対応したエンジンと多くの機械類が搭載された、神海丸の**心臓**とも言われる**機関室**。船長を補佐する**機関長**は、その命を受けて機関士を指揮し、機関効率の維持向上と安全かつ経済的な機関運用を行う。**隠岐水産高校エンジニアコース12名**、**浜田・隠岐水産高校専攻科機関科7名**、**合計19名**もの実習生が、室温約40℃のこの機関室で、機関運転や保守整備について実習を行い、機関術を習得している。何度、洗濯しても落ちることがない油の匂いが染み付いた実習服を着て、今日も汗をかきに機関室へと入って行く。将来の機関長・機関士を目指すために。



機関室



圧縮機、異常なし！



絶対に専攻科に行く！



機関制御室



バッチリ整備出来ました！